

- 氏名：新井憲法 (あらい よしのり)
- 会員番号：PEN-0021
- 専門分野：Chemical Engineering
- 試験日：一回目：2008 年4 月 二回目：2008 年10 月
- 使用した参考書、問題集

Chemical Engineering Reference Manual For the PE Exam.
Practice Problems for the Chemical Engineering PE Exam.

- 試験当日持ち込んだ図書

自分で問題を解いたノート、化学便覧、化学機械の理論と計算



1. 体験記

私の所属する部署にPE を志す先輩がいた関係から、私も2002 年秋に日本で実施されたFE 試験を受験し合格しました。JSPE にも入会し、PE 受験を計画しておりましたが、アメリカでの同時多発テロ以降横須賀の基地での受験が出来なくなり、仕事でも長期出張が重なりPE 受験から遠ざかっていました。JSPE からの連絡もあり出張から戻ってきた時期に鬼金セミナーに参加しPMP に関するセミナーに参加し、PMPを取得しました。再び、日本でのPE 試験を受験することが可能となったため受験を決意しました。2008 年4 月の試験を受けるため急遽必要な書類を集めぎざぎざで1 月に受験票を提出し、それから受験準備を始めました。

当初、なにから手をつけていいかわからず、Practice Problems for the Chemical Engineering PE Exam.を最初から最後まで取り組むその後、Chemical Engineering Reference Manual For the PE Exam.を飛ばしながら実施しました。勉強時間を自宅で取ることが難しく通勤の往復の電車の中で取組ましたが、なかなか頭に入りませんでした。自宅では、休日の数時間を勉強の時間としました。オープンブック形式の試験ですが、出題範囲も広く、単位換算等もあり3 か月の期間では十分な時間を作るのが難しかったようです。こうして一回目の受験を4月に迎えましたが、午前4 時間、午後4 時間の試験時間は長いようであつという間にすぎ疲労感が募りました。

その後、6 月に東京から大阪への転勤となり一回目の試験の不合格通知は転勤先で受けました。仕事も忙しいおりで再受験をどうしようか悩みましたが、二回目の受験は提出書類も少なくて済、また、試験の雰囲気や記憶しているうちに受験した方が良いと思い、思い切って申込ました。二回目の受験ということもあり、試験内容も記憶に新しく同じ練習問題を解くにしても理解し易く感じました。また、一回目の受験で回答出来なかった関連の問題を集中的に解き、ノートに問題の解き方を自分の手で記入することにより試験会場でも分かり易かったと記憶しております。また、勉強時間も転勤のため電車通勤では無く単身赴任であったため、休みに図書館でまとめて時間を取りました。試験合格の結果を受領したときは、非常に嬉しかったです。

2. 最後に

今後、PE の登録を前にReference の問題や申請方法等全く手を着けておらず先が思いやられますが、JSPE殿のご協力を仰ぎながらひとつひとつ準備を進めたいと思います。今後ともよろしく願い致します。